



### 保育理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、地域の多様な子育ての要求を受け止め助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべてのものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

### 保育目標

- 1、人格を尊重し、一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを協同する
- 3、保育園の社会的役割をはたす

### めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にす子ども



今年度の冬まつりは、初めて「荒馬座」の方を呼んで、踊りの体験をしました。5才児だけの予定が、急遽4才児も体験できることになりました。ずっと、跳ねている踊りなのでとてもハードでしたが、子ども達は最後まで全力で跳ねていました。終わってからみんな笑顔だったので、とても達成感があったのではないかと感じました。終了後に荒馬座の方からお話があったのですが「ラッセラーラッセラー」と大人が掛け声をかけたら子ども達が「ラッセラッセラッセラー」と声を出して、交互に掛け声をかけあうのが基本なのですが、この「交互に声を出す」というのはなかなか難しいようです。「普通は1回ではできないのですが、みんなすぐにできるようになって驚いた」とのことでした。その時にちょうど、わらべうたの課業のおたよりが掲示してあったので「日頃からわらべうたで交互唱を取り入れているからできるのですね。また、私たちの質問に対してもよく聞いていて、受け答えが的確なのもちゃんと聞く力が育っているからだと感じました」とお話しされていました。

私たちは、0才児の頃は特に一人ひとりにうたいかけるということを意識しています。子どもは、自分にうたってくれているということがわかると、うたう人の顔をジーっと見つめて聞いています。その見つめられる視線を痛いほど感じるので、うたうほうも真剣になります。そんなやりとりをしていると、大人がわらべうたをうたった時、部屋の中が一瞬静かになってみんなの注目を浴びることもあります。

「聞く力」は、2才くらいまでに耳を澄ませて聞こうとする機会がどれだけあるか、ということが重要だということです。機械的なものから流れる歌や音楽に慣れてしまうと聞き流す癖がついてしまい、聞こうとする力が退化してしまうそうです。就学すると大きな集団の中での一斉指示や先生のお話を長い時間聞くことも多くなっていきます。「学校に行く時期になったらできる」ということではなく、0才児からの積み重ねが大事だということを改めて感じました。

園長 真鍋 桂子

## 給田小学校に行ってきました

5才児が、給田小学校に行き1年生との交流授業に参加しました。新しい1年生が学校に行くのに少しでも不安を解消して欲しいという給田小学校の先生の思いで企画してくれたそうです。2時間目は、1年生が5才児さんを「学校探検」として手をつないで、色々なところに連れて行って説明してくれました。その姿は、1年でこんなにしっかりするのかと驚くと共に、今年の高かさん達の1年後を想像して楽しみになりました。3時間目は1年生がお店屋さんになり、5才児がお客さんになり買い物をしました。小鳥の森では、一番大きい高かさんが、とてもかわいく見えました。また、当日は久しぶりの雨が降り、よりによって…と思いましたが、傘をご用意していただいたおかげで傘をさして歩く練習や、開いたり閉じたりする練習にもなって良かったです。

### 今月の予定

- 3日(火) ひなまつり
- 4日(水) 身体測定(幼児)
- 5日(木) 身体測定(乳児)
- 6日(金) 5才児 懇談会
- 12日(木) 健康診断(乳児)・5才児 鬼塚先生の「命のはなし」
- 14日(土) 5才児 卒園式
- 16日(月) 新入園児保護者 入園説明会
- 27日(金) たかさん お別れパーティ 幼児クラス

